



2023年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5195 URL https://www.bandogrp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植野 富夫
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 澤井 幹生 TEL 078-304-2516
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	103,608	10.5	6,734	14.5	8,259	209.8	8,542	150.2	5,722	372.4	8,758	105.4
2022年3月期	93,744	15.2	5,880	19.1	2,665	△50.4	3,414	△39.2	1,211	△69.3	4,263	△45.3

(注) コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的 1株当たり当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属 持分当期利益率	総資産税引前当期利益率
	円 銭	円 銭	%	%
2023年3月期	129.96	—	7.6	7.2
2022年3月期	26.92	—	1.7	2.9

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期 1,448百万円 2022年3月期 1,025百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	118,971	78,013	77,656	65.3	1,785.25
2022年3月期	116,381	72,429	72,133	62.0	1,620.20

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	7,712	△3,981	△6,429	16,770
2022年3月期	9,591	△534	△9,942	18,837

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	16.00	—	24.00	40.00	1,800	148.6	2.5
2023年3月期	—	22.00	—	30.00	52.00	2,287	40.0	3.1
2024年3月期 (予想)	—	34.00	—	34.00	68.00		49.3	

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	1.3	7,500	11.4	8,700	5.3	6,000	4.9	137.93

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	47,213,536株	2022年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2023年3月期	3,714,446株	2022年3月期	2,691,959株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	44,028,355株	2022年3月期	44,999,226株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	48,038	2.9	1,433	9.2	6,723	37.2	5,863	—
2022年3月期	46,678	13.6	1,313	43.4	4,901	43.2	△4,712	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	133.16	—
2022年3月期	△104.60	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	69,044	39,168	56.7	900.44
2022年3月期	69,345	36,115	52.1	811.19

(参考) 自己資本 2023年3月期 39,168百万円 2022年3月期 36,115百万円

※ 決算短信は公認会計士または監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等は、5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2023年5月15日（月）に当社ホームページに掲載いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年5月23日（火）に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結持分変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 補足情報	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

	2022年3月期 (百万円)	2023年3月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上収益	93,744	103,608	9,863	10.5
自動車部品事業	41,829	49,198	7,369	17.6
産業資材事業	33,301	35,352	2,050	6.2
高機能エラストマー製品事業	13,998	14,787	789	5.6
その他	5,554	5,266	△287	△5.2
調整額	△939	△997	△58	—
コア営業利益 (セグメント利益) (△は損失)	5,880	6,734	854	14.5
自動車部品事業	2,741	3,289	547	20.0
産業資材事業	2,688	3,218	529	19.7
高機能エラストマー製品事業	280	359	79	28.3
その他	304	59	△245	△80.5
調整額	△134	△192	△57	—
営業利益	2,665	8,259	5,593	209.8
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,211	5,722	4,510	372.4

(注) コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残るなか、活動制限の緩和を機に個人消費が回復し、景気を持ち直しがみられた地域はあるものの、欧州においては、高インフレや資源価格の高止まりが個人消費や企業による経済活動の重石となり、米国においても、高インフレや政策金利の引き上げなどが景気の下押し要因となるなど、景気の回復ペースが鈍化するなかで推移いたしました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、半導体不足の緩和や、新型コロナウイルス感染症の影響で低迷していた個人消費の回復などもあり、各国の自動車生産台数が総じて前年度を上回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）の第2ステージの5年目として、「新事業の創出」、「コア事業の拡大」、「ものづくりの深化と進化」、「個人と組織の働き方改革」の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して活動してまいりました。「新事業の創出」では、当社独自の撥水技術を活用し省資源化を狙ったコンクリート型枠用撥水・透水シートの開発を完了し、2022年11月からテスト販売を開始いたしました。また、産学連携の研究成果を用いて開発した吸収性骨再生用材料を製品化いたしました。「コア事業の拡大」では、軽搬送用ベルト「サンライン®ベルト」の新たなラインアップとして、低収縮性に優れた食品搬送用ベルトを開発したほか、重点市場を定め顧客開拓を推進いたしました。また、収益力向上のため、革新製法の開発、自動化ラインの構築やデジタル技術を用いた業務効率化など、「ものづくりの深化と進化」や「個人と組織の働き方改革」に取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度は、売上収益は103,608百万円（前年同期比10.5%増）、原材料調達価格の高騰はありましたが、前年度に計上した一時的な費用の影響がなくなったことにより、コア営業利益は6,734百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益は8,259百万円（前年同期比209.8%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は5,722百万円（前年同期比372.4%増）となりました。

《セグメント別の状況》

事業（セグメント）別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、自動車生産台数の回復にともない、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）の販売が増加いたしました。

海外においては、米国および中国において主要顧客の減産により、補機駆動用伝動ベルトなどの販売が減少いたしました。欧州地域において新規顧客の開拓による補修市場向け製品の販売が増加し、アジア地域においても四輪・二輪車メーカーの生産が回復し補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は49,198百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は3,289百万円（前年同期比20.0%増）となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、民間設備投資の増加により産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。海外においては、積極的な顧客開拓が奏功し、各国・地域において産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトの販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は35,352百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は3,218百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、国内において非住宅関連の需要が回復したこともあり、建築資材用および装飾表示用フィルムの販売が増加いたしました。

精密機能部品につきましては、主要顧客の生産回復もあり、精密ベルト、高機能ローラおよびブレードなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は14,787百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は359百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っており、売上収益は5,266百万円（前年同期比5.2%減）、医療機器事業において主力製品の償還価格下落の影響もありセグメント利益は59百万円（前年同期比80.5%減）となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,590百万円増加し、118,971百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が減少した一方、棚卸資産および持分法で会計処理されている投資が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,993百万円減少し、40,958百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が増加したことなどによるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ5,584百万円増加し、78,013百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加などによるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の62.0%から65.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2,066百万円減少し、16,770百万円となりました。各連結キャッシュ・フローの状況とその主な増減要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度末と比べ1,878百万円収入が減少し、7,712百万円の収入超過となりました。これは主に、法人所得税の支払額の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度末と比べ3,446百万円支出が増加し、3,981百万円の支出超過となりました。これは主に、資本性金融商品の売却による収入の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度末と比べ3,512百万円支出が減少し、6,429百万円の支出超過となりました。これは主に、有利子負債の削減額が減少した一方で、配当金の支払いなどの株主還元が増加したことによるものです。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドにつきましては次のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
親会社所有者帰属持分比率 (%)	66.2	57.7	60.6	62.0	65.3
時価ベースの親会社所有者帰属持分比率 (%)	47.4	26.0	29.3	33.8	38.7
債務償還年数 (年)	1.6	2.4	2.0	1.4	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	56.9	52.8	74.9	77.5	94.9

(注) 1. 各指標の算式は次のとおりです。

親会社所有者帰属持分比率 : 親会社の所有者に帰属する持分 / 総資産

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率 : 株式時価総額 (期末株価終値、自己株式を除く) / 総資産

債務償還年数 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利息の支払額

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

有利子負債は連結財政状態計算書に計上されている「社債及び借入金」を対象としております。

また、営業キャッシュ・フロー、利息の支払額は、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー、利息の支払額をそれぞれ使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、足もとは新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、景気の回復が期待されるものの、原材料価格やエネルギー価格の高騰の影響が依然残るなか、欧米を中心とした各国の政策金利の引き上げが続くことにより、景気回復は力強さを欠く展開も見込まれます。これらに加えて、ウクライナ情勢など地政学的リスクも孕んでおり、世界経済にとって不確実性の高い状況が継続することが予想されます。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、半導体の供給不足が緩和され、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移していますが、問題は完全には解決しておらず、回復の動きに水を差す展開も懸念されます。産業機械分野におきましても、外需の減少による景気の下振れも見込まれ、同様に楽観視できる状況にありません。

このような認識のもと、今般、当社グループは、自らの存在価値や目指す方向性を再確認したうえで、新たな長期ビジョン「ビジョン2050」（人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER）を定めるとともに、その実現に向けて、中長期経営計画“Creating New Value for the Future”を策定いたしました。

この中長期経営計画の第1ステージ（CV-1）における3つの指針のもと、経営目標の達成を目指してまいります。また、持続可能な社会の実現に貢献するべく、さまざまな活動に今後とも積極的に取り組んでまいります。

これらの状況を踏まえ、次年度の連結業績予想として、売上収益105,000百万円（当連結会計年度比1.3%増）、コア営業利益7,500百万円（当連結会計年度比11.4%増）、営業利益8,700百万円（当連結会計年度比5.3%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益6,000百万円（当連結会計年度比4.9%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、グローバルでの経営管理の更なる強化、財務情報の国際的な比較可能性の向上および海外投資家の拡大を目的として、国際財務報告基準を任意適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,837	16,770
営業債権及びその他の債権	22,486	21,942
棚卸資産	16,232	18,720
未収法人所得税	50	649
その他の金融資産	734	1,188
その他の流動資産	859	1,198
流動資産合計	59,200	60,470
非流動資産		
有形固定資産	32,954	32,521
のれん	4,581	4,582
無形資産	3,947	3,602
持分法で会計処理されている投資	8,511	10,180
その他の金融資産	6,109	6,394
繰延税金資産	755	814
その他の非流動資産	320	404
非流動資産合計	57,180	58,501
資産合計	116,381	118,971

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16,050	16,990
社債及び借入金	3,593	7,982
未払法人所得税	1,720	753
その他の金融負債	976	963
引当金	5	2
その他の流動負債	6,174	5,476
流動負債合計	28,520	32,169
非流動負債		
社債及び借入金	10,237	3,587
退職給付に係る負債	651	705
その他の金融負債	1,675	1,500
繰延税金負債	1,085	1,628
その他の非流動負債	1,781	1,367
非流動負債合計	15,432	8,789
負債合計	43,952	40,958
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	3,075	3,112
利益剰余金	56,480	60,380
自己株式	△2,577	△3,577
その他の資本の構成要素	4,203	6,789
親会社の所有者に帰属する持分合計	72,133	77,656
非支配持分	295	356
資本合計	72,429	78,013
負債および資本合計	116,381	118,971

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上収益	93,744	103,608
売上原価	66,081	74,186
売上総利益	27,662	29,421
販売費及び一般管理費	21,782	22,687
その他の収益	446	274
その他の費用	4,685	197
持分法による投資利益	1,025	1,448
営業利益	2,665	8,259
金融収益	878	655
金融費用	130	373
税引前当期利益	3,414	8,542
法人所得税費用	2,197	2,780
当期利益	1,217	5,761
当期利益の帰属：		
親会社の所有者	1,211	5,722
非支配持分	5	39
当期利益	1,217	5,761
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	26.92	129.96

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期利益	1,217	5,761
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	423	271
確定給付制度の再測定	100	29
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	△0	311
純損益に振り替えられることのない項目合計	523	612
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,863	2,108
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	659	276
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,523	2,384
その他の包括利益合計	3,046	2,997
当期包括利益	4,263	8,758
当期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	4,231	8,694
非支配持分	31	64
当期包括利益	4,263	8,758

(3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2021年4月1日 残高	10,951	3,075	55,857	△1,622	2,230	70,491	271	70,763
当期利益			1,211			1,211	5	1,217
その他の包括利益					3,020	3,020	26	3,046
当期包括利益合計	—	—	1,211	—	3,020	4,231	31	4,263
剰余金の配当			△1,634			△1,634	△7	△1,642
自己株式の取得				△954		△954		△954
株式に基づく報酬取引						—		—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1,047		△1,047	—		—
所有者との取引額等合計	—	—	△587	△954	△1,047	△2,589	△7	△2,597
2022年3月31日 残高	10,951	3,075	56,480	△2,577	4,203	72,133	295	72,429
超インフレによる影響額			△170			△170		△170
2022年4月1日 残高 (調整後)	10,951	3,075	56,310	△2,577	4,203	71,963	295	72,258
当期利益			5,722			5,722	39	5,761
その他の包括利益					2,972	2,972	25	2,997
当期包括利益合計	—	—	5,722	—	2,972	8,694	64	8,758
剰余金の配当			△2,037			△2,037	△3	△2,040
自己株式の取得				△1,000		△1,000		△1,000
株式に基づく報酬取引		37				37		37
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			386		△386	—		—
所有者との取引額等合計	—	37	△1,651	△1,000	△386	△3,001	△3	△3,004
2023年3月31日 残高	10,951	3,112	60,380	△3,577	6,789	77,656	356	78,013

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	3,414	8,542
減価償却費及び償却費	5,892	5,894
減損損失	4,327	14
受取利息及び受取配当金	△292	△327
支払利息	121	85
為替差損益 (△は益)	△156	△291
持分法による投資損益 (△は益)	△1,025	△1,448
固定資産除売却損益 (△は益)	57	76
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,523	△2,097
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,405	846
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	872	1,071
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△91	4
引当金の増減額 (△は減少)	0	△3
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,026	△751
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	△379	△414
その他	190	△20
小計	11,030	11,180
利息及び配当金の受取額	623	700
利息の支払額	△124	△81
法人所得税の支払額	△1,947	△4,099
法人所得税の還付額	9	12
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,591	7,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△685	△1,612
定期預金の払戻による収入	445	1,182
有形固定資産の取得による支出	△3,467	△3,524
有形固定資産の売却による収入	85	11
無形資産の取得による支出	△132	△199
資本性金融商品の売却による収入	3,156	133
その他	65	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△534	△3,981

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	△544
長期借入金の返済による支出	△1,712	△1,750
リース負債の返済による支出	△1,085	△1,093
社債の償還による支出	△3,000	—
自己株式の取得による支出	△1,000	△1,000
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,634	△2,037
非支配持分への配当金の支払額	△7	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,942	△6,429
現金及び現金同等物に係る換算差額	858	631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26	△2,066
現金及び現金同等物の期首残高	18,863	18,837
現金及び現金同等物の期末残高	18,837	16,770

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当連結会計年度より、当社グループはIAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に従い、トルコの子会社の財務諸表を期末日の測定単位に修正することで、トルコのインフレの影響を加えて、連結財務諸表に取込んでおります。超インフレ経済下における在外営業活動体の財務諸表については、IAS第21号「外国為替レート変動の影響」で要求されているとおり、収益および費用についても、期末日の為替レートをを用いて日本円に換算しております。これによる当連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失およびその他の項目の金額に関する情報

セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益または損失およびその他の項目は、次のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	41,829	33,276	13,956	89,061	4,682	—	93,744
セグメント間の売上収益 または振替高	0	25	41	67	871	△939	—
計	41,829	33,301	13,998	89,129	5,554	△939	93,744
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	2,741	2,688	280	5,710	304	△134	5,880
その他の収益	—	—	—	—	—	—	446
その他の費用	—	—	—	—	—	—	4,685
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	1,025
営業利益	—	—	—	—	—	—	2,665
金融収益	—	—	—	—	—	—	878
金融費用	—	—	—	—	—	—	130
税引前当期利益	—	—	—	—	—	—	3,414
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	2,197
当期利益	—	—	—	—	—	—	1,217
その他の項目							
減価償却費及び償却費	2,610	1,612	797	5,020	494	377	5,892
有形固定資産および 無形資産の増加額	2,734	1,320	415	4,471	268	897	5,636
減損損失	282	—	—	282	4,044	—	4,327

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△134百万円には、セグメント間取引消去0百万円、全社費用△135百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

(2) 有形固定資産および無形資産の増加額の調整額897百万円は、主に報告セグメントに帰属しない固定資産等に係るものであります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	49,198	35,347	14,649	99,194	4,413	—	103,608
セグメント間の売上収益 または振替高	0	4	138	144	853	△997	—
計	49,198	35,352	14,787	99,339	5,266	△997	103,608
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	3,289	3,218	359	6,867	59	△192	6,734
その他の収益	—	—	—	—	—	—	274
その他の費用	—	—	—	—	—	—	197
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	1,448
営業利益	—	—	—	—	—	—	8,259
金融収益	—	—	—	—	—	—	655
金融費用	—	—	—	—	—	—	373
税引前当期利益	—	—	—	—	—	—	8,542
法人所得税費用	—	—	—	—	—	—	2,780
当期利益	—	—	—	—	—	—	5,761
その他の項目							
減価償却費及び償却費	2,648	1,661	758	5,067	474	352	5,894
有形固定資産および 無形資産の増加額	1,736	1,311	687	3,735	135	495	4,366
減損損失	—	—	—	—	14	—	14

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△192百万円には、セグメント間取引消去7百万円、全社費用△200百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

(2) 有形固定資産および無形資産の増加額の調整額495百万円は、主に報告セグメントに帰属しない固定資産等に係るものであります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益はコア営業利益で表示しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	1,211	5,722
親会社の普通株主に帰属しない当期利益 (百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	1,211	5,722
発行済普通株式の加重平均株式数 (千株)	44,999	44,028
基本的1株当たり当期利益 (円)	26.92	129.96

なお、希薄化後1株当たり当期利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

[海外売上収益]

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上収益 (百万円)	34,509	10,324	14,276	59,109
II 連結売上収益 (百万円)				103,608
III 連結売上収益に占める海外売上収益の割合 (%)	33.3	10.0	13.8	57.1

(注) 1. 海外売上収益は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上収益であります。

2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

(1) 国または地域の区分の方法は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

アジア……………タイ、韓国、ベトナム、インド、インドネシアほか

中国……………中国、香港

欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか